

⑨ Still Life

伊達男の新定番は帽子！

スタイル・ライフ その昔は紳士服やメンズ雑誌の店が立ち並んでいたというストリートにオープンした帽子店。トラディショナルなスタイルのメンズハットは、今再び新鮮！伊達男を気取るなら今は帽子が必須！オーナーはアートディレクターとして雑誌も発行しているという趣味人だ。2006年オープン。●77 Orchard St. ☎212-575-3704。12時～19時。無休。http://www.stilllifeny.com



⑤ Freemans Sporting Club

トレンドは今、超古典主義。

フリーマンズ・スポーティングクラブ（フリーマンズ）と同オーナーによる紳士服の店。デッドストックのヴィンテージ生地を用い、大柄個性的なデザインが仕立てるスーツなど、“クラシック”にこだわりぬく。1階には日本の理髪店も。2006年オープン。●8 Rivington St. ☎212-673-3209。12時～20時。（土11時～、日12時～18時）。無休。http://www.freemansportingclub.com (p.89参照)



ギャラリー

⑩ Canada

中国人街に吹く現代アート之风。

カナダ チャイナタウンの雑踏にあり、外観は普通の住居ビル。ブザーの横に小さく「Canada」の文字が。こんなスタイルのギャラリーがこの辺りは多い。中でもここは最近「NYタイムズ」などのアート欄にもご紹介している有望株。今年、NYのアーモリーショーにも初出展。2002年オープン。●55 Chrystie St. ☎212-925-4631。12時～18時。月曜・火曜休。http://www.canadanewyork.com



セレクトショップ/男女



⑪ Project 8

オブジェとしても美しい服たち。

プロジェクト8 ギャラリーオーナーの妻とグラフィックデザイナーの夫による8番目の共同プロジェクト。が空名の意。採光や通風にこだわったエコロジカルな設計の店舗には、オリジナルの服のほか、どこかアートの匂いがする世界中のクリエイターの商品が置かれている。2006年オープン。●138 Division St. ☎212-925-5599。12時～19時（日11時～18時）。月曜休。http://www.projectno8.com

⑫ Modern Living Supplies

モダン家具の穴場は最東端に。

モダン・リビング・サプライズ LES通りのゴールはココ！ イーストリバーまでわずか3ブロックという最東端で、まわりはすっかりリチャイナタウン。店内には50年代～60年代のお宝ヴィンテージ家具を取り揃えている。NYのトップインテリアデザイナーも頻りにしている店だ。2005年オープン。●20 Rutgers St. ☎212-619-1615。12時～19時。日曜休。http://www.modernlivingsupplies.com



インテリア

⑧ Roasting Plant

秘伝！ コーヒー豆の溜選り。

ロースティング・プラント 完全コンピュータ制御、特許を取ったマシンが売り。フレッシュな味わいと香りを追求し、オーダーのたびに豆をひいている。レジでボタンを押すと1杯分の豆がパイプを通じて直に舞い、あなたのカップへ！ という仕組み。2007年オープン。●81 Orchard St. ☎212-775-7755。7時～22時（日8時～20時）。無休。http://www.roastingplant.com



⑥ The Box

人気のショーは世紀末の重り。

ザ・ボックス 過剰かつエロティックなキヤバレーションを上演するナイトクラブ。「シルク・ド・ソレイユ」のスターをフィチャーした美白で、2箱ボックス席の価格は900ドル（5名～6名）。予約なしでも入場できるが、ベルベット・ロープを突破するのは今宵で最終回といえるホットスポット。2007年オープン。●189 Chrystie St. ☎212-962-9300。http://www.theboxnyc.com



⑦ Travessia

アート×ファッションの交差点。

トラヴェシア ギャラリースペースを内包した店。あえて服と作品を同じ部屋に並べているのは、アートは生活の中にあってこそ存在感を放つものだから。アートもファッションもスカンジナビア諸国からアフリカ、南米、アジアなどさまざまな地域からセレクトされている。2007年オープン。●175 Stanton St. ☎212-477-7771。14時～20時（日12時～18時）。月曜休。http://www.travessia-nyc.com



セレクトショップ/男

カ